

# The Ways to Have a Better Dialogue for Empathy

境界・領域を超えて  
社会課題に向き合い、  
社会を動かす試みとは？

実践者が語る

発信とコミュニケーション。

Mutual Learning and Exchanges

学びあいから共感へ

～私たちはいかに社会と対話してきたか

2020年2月7日(金) 15:00～18:00(14:30開場)

Feb 7, 2020 15:00-18:00(14:30 doors open)

2020年2月8日(土) 10:00～12:30(9:30開場)

Feb 8, 2020 10:00-12:30(9:30 doors open)

会場:東京大学 駒場キャンパス 18号館ホール  
(〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1)

Hall, Bldg 18, The University of Tokyo Komaba Campus

入場無料・要事前申し込み

Admission Free

言語:日本語・英語(通訳あり)

Language: Japanese / English Translation

参加申し込みはこちらから



<https://forms.gle/S9ttKmUisyzkNAgB7>

## ● 東京大学 多文化共生・統合人間学プログラム ●

専門性を備えたうえで、広い視野を持ち、社会との連携を通して創造的・具体的に実践する次世代トップリーダーを養成する領域横断型プログラム。人文学・社会科学・自然科学の新たな大学院教育の理念になりうる統合人間学を社会に提示することを目指す。

The University of Tokyo's Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS) program was inaugurated in 2014 to nurture proactive leaders not only with a high level of expertise and a broad perspective on matters relating to human society, but with the insight and integrative ability required for collaborating with others in locating the problems and solving them through the creation and communication of new values, and through concrete actions in society.

## ● トヨタ財団 国際助成プログラム ●

東・東南アジアの複数国かつマルチセクターからなるチームが、相互の直接交流を通じてアジア共通の社会課題に取り組み、その成果を社会に発信することを支援するプログラム。領域を超え、プロジェクトのスキームを重視している。

The Toyota Foundation's International Grant Program (IGP) focuses on deepening mutual understanding and knowledge-sharing among people on the ground in their target countries who are finding solutions to shared issues. Through promoting direct interaction among key players, the grant program aims to survey and analyze situations in those areas, obtain new perspectives, and expand the potential of future generations.



The University of Tokyo



THE TOYOTA FOUNDATION

# 実践と研究をつなぎ、社会との対話を考える

グローバル化の進む現代において、国や文化、セクターの枠を超えた対話と協働は、複雑な社会課題を解決する上で欠かすことのできないアプローチとなっています。

東京大学IHSプログラムの研究者と学生、過去数年のトヨタ財団国際助成プログラム助成対象者が集う本シンポジウムでは、「社会との対話」に焦点を当て、セクターを超えたプロジェクト運営、社会課題への関心を喚起する様々な手法やその課題を共有します。

Dialogues and collaborations across different nations, cultures, and sectors are more and more important to solve complicated social issues under globalization. The IHS program of the University of Tokyo and the Toyota Foundation, co-organizers of this symposium, will focus on "dialogue with society" to share the successes and the challenges in the project management and dissemination by inviting the IHS students and researchers as well as the IGP grantees of the Toyota Foundation.

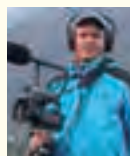
Day1

上映会・クロストーク：“彼ら”の見方・切り取り方  
Short Film Screening and Talk: Their / Our Views

2月7日(金) 15:00～18:00(14:30開場)

映像は社会への発信に有効なツールのひとつです。トヨタ財団助成プロジェクトの中で、対話を経ながら制作された映像作品を上映し、その背景とねらい、活用の方法について、助成対象者が語ります。

## 作品上映・登壇



ディペシュ・カレル

(対象地:ネパール、ベトナム、日本)

Dipesh Kharel

Visual Ethnographer/Filmmaker, Researcher, The University of Tokyo

映像人類学者・映像作家。フィールドワークに基づき、数多くの執筆や映像制作を手がける。上智大学の日本学術振興会特別研究員、および東京大学の研究員として、東南アジアから日本への移民や留学生について映像に記録する活動を行っている。



スイヒン・クリー

(対象地:カンボジア、タイ、ベトナム)

Suyheang Kry

Executive Director, Women Peace Makers Organization (WPM)

Women Peace Makers Organization (WPM)代表。2003年の設立以来、対話や理解促進、戦略的介入による女性と若者のエンパワーメント、紛争変容、暴力の防止のために活動している。マサチューセッツ州ローウェル大学紛争平和学修士、王立ブノンベン大学教育学士。



チョウ・ユンジュ (Yun) & J・ユヒョン・イ (Jen)

(対象地:台湾、韓国)

Yun Ju Chou

Specialist,  
National Culture and Arts Foundation

J Yoohyun Lee

Ph.D. Researcher,  
Hong Kong Polytechnic University

2016年にタイで出会い社会的アート活動への関心で意気投合し、国を超えた共同プロジェクトを展開。Yunは台湾のアーティストに所属しアートイベントを企画している。Jenはコミュニティアートの実践者で、ソーシャルデザインのPh.D.を取得中。

コーディネーター

利根 英夫

(トヨタ財団プログラムオフィサー)

Hideo Tone

Program Officer, The Toyota Foundation

Day2

国際シンポジウム：境界の超え方・つなぎ方  
International Symposium: The Ways to Go Beyond the Boundaries

2月8日(土) 10:00～12:30(9:30開場)

領域を超えるアプローチについて、IHSのめざす方向性、トヨタ財団助成対象者が実践を通じて得た知見や課題を共有し、ディスカッションを通して研究と実践の統合がもたらす可能性を考えます。

## 登壇者



高橋 英海

(東京大学教授)

Hidemi Takahashi

Coordinator, the Integrated Human Sciences Program for Cultural Diversity (IHS)  
The University of Tokyo

多文化共生・統合人間学プログラム (IHS) コーディネーター。フランクフルト大学博士課程修了(東洋学)。中央大学総合政策学部助教授、東京大学大学院総合文化研究科准教授などを経て、2015年より同教授。専門はシリア語および中世アラビア語文学・文献学。



海老原 周子

(対象地:日本、香港、マレーシア)

Shuko Ebihara

Founder, kuriya

一般社団法人 kuriya 代表理事。文部科学省 日本語指導アドバイザー。ペルー、イギリス、日本で育つ。(独)国際交流基金、IOM国際移住機関等で勤務。2009年より、移民の高校生を対象にキャリア教育やアートプロジェクトなどを行う。2016年EU主催「Global Cultural Leadership Programme」日本代表。



吉川 舞

(対象地:カンボジア、日本)

Mai Yoshikawa

Founder, Napura-works Co., Ltd.

ナブラワークス代表。カンボジアの世界遺産サンボア・プレイ・クック遺跡群を舞台に、古代と現代と未来がつながる旅を提供。訪れる人、迎える人の双方に価値ある旅を地域の仲間とともにデザインしながら、遺跡と自然、人々のつながりが織りなす遺跡生態系を育てている。



ナピサー・ワイトゥンキアット

(対象地:タイ、インドネシア)

Napisa Waitookiat

Director, Center of ASEAN Community Studies,  
and Dean, Faculty of Social Sciences, Naresuan University

タイ・ピサヌローク州ナレスワン大学社会科学学部学部長・准教授。Asian Political and International Studies Association前会長・現事務局長。SCOPUSへの執筆等、著作多数。研究領域は東南アジアの党/選挙政治、民主化、平和学、人間の安全保障、人の移動等。

コーディネーター 園田 茂人(東京大学教授、トヨタ財団国際助成プログラム選考委員長) Shigeto Sonoda Professor, The University of Tokyo

[プログラム詳細はこちらをご覧ください。](http://www.toyotafound.or.jp/international/2019/toyotafound/ihsfstsymposium.html)

<http://www.toyotafound.or.jp/international/2019/toyotafound/ihsfstsymposium.html>

[お問い合わせ](mailto:asianneighbors@toyotafound.or.jp)

トヨタ財団国際助成グループ [asianneighbors@toyotafound.or.jp](mailto:asianneighbors@toyotafound.or.jp)